

# 校倉仕上げ 施工の手引き

## 適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m <sup>2</sup> (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100 m<sup>2</sup></u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1液水系珪砂シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m<sup>2</sup></u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> ( <u>ジョリパットノフリーズ JPW-100 シリーズ</u> ) 標準色 <u>JP(W)-100T</u> ( <u>...数字</u> ) 特注色 <u>JP(W)-100</u> ( <u>...英字、...数字</u> )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約7 m <sup>2</sup>
骨材	JF-3	寒水石(白竜) 3 厘	20kg/袋入り	約2.5 m <sup>2</sup>
	JF-5	寒水石(白竜) 5 厘	20kg/袋入り	約2.5 m <sup>2</sup>

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m<sup>2</sup>/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノフリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ
- ・校倉専用クシ目ゴテ (JR-71)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ(平滑)など

< 校倉仕上げ施工方法 >

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18ℓ
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・JP(W)-100シリーズを無希釈で0.9kg/m<sup>2</sup>となるよう金ゴテにて平滑に塗布して下さい。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	<u>JP(W)-100シリーズ</u>	20kg
	寒水石 5厘	8kg
	寒水石 3厘	8kg
	清 水	1.5~2ℓ
塗 布 量	約3.5kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	金ゴテ	
	金ゴテにて平滑になるよう配り塗り。 (厚さ3mm程度)	

追いかけて(5分以内)

4. パターン付け

・校倉専用クシ目コテJR-71を横方向に引っぱり、櫛引き模様のジョイント部分がランダム(図-1)になるようパターン付けを行ってください。

<施工のポイント>

- ・最初に目安となる線を横方向に引き、この線を基準線として、細かいパターン付けを行うと仕上げをキレイに行いやすくなります。
- ・次にクシ目のジョイント部分が目立たないように、継ぎ部分は千鳥状に付けてください。細かくパターン付けを行うと、パターンつなぎが目立ちにくくなり、バランスのとれた仕上がりになります。  
(図 - 1)
- ・クシ目ゴテは、パターン付けを行う進行方向に対して、45度程度傾けてパターン付けを行うと見本板に近い仕上がりになります。コテをたてすぎたり、寝かせすぎると意匠性が変わりますのでご注意ください。
- ・校倉クシ目ゴテは、常にきれいに保つよう、ウエスなどで余分な材料を除去し施工してください。クシ目ゴテに材料が付着したまま、パターン付けを続けると、後のほうほど意匠が汚くなります。

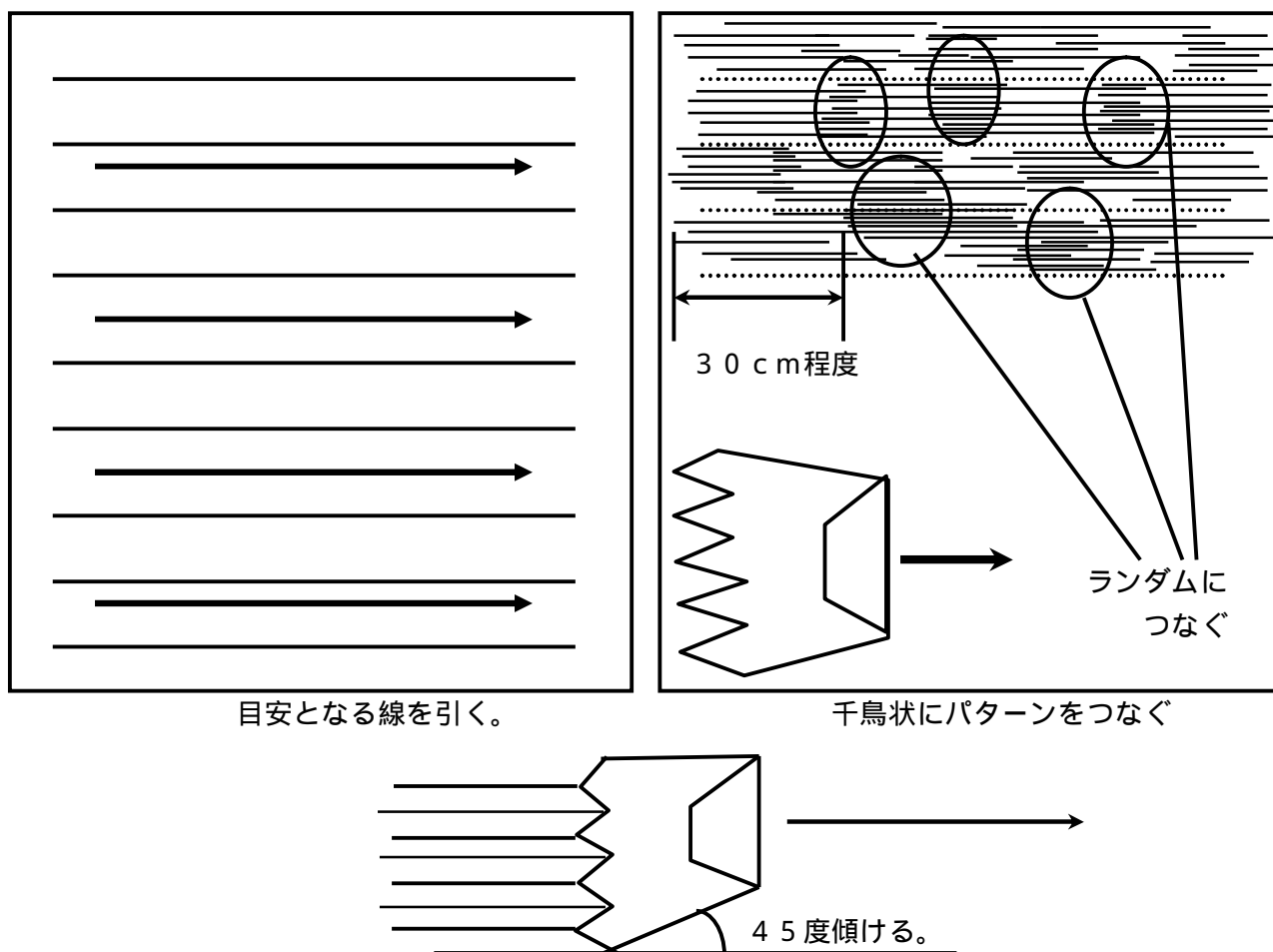
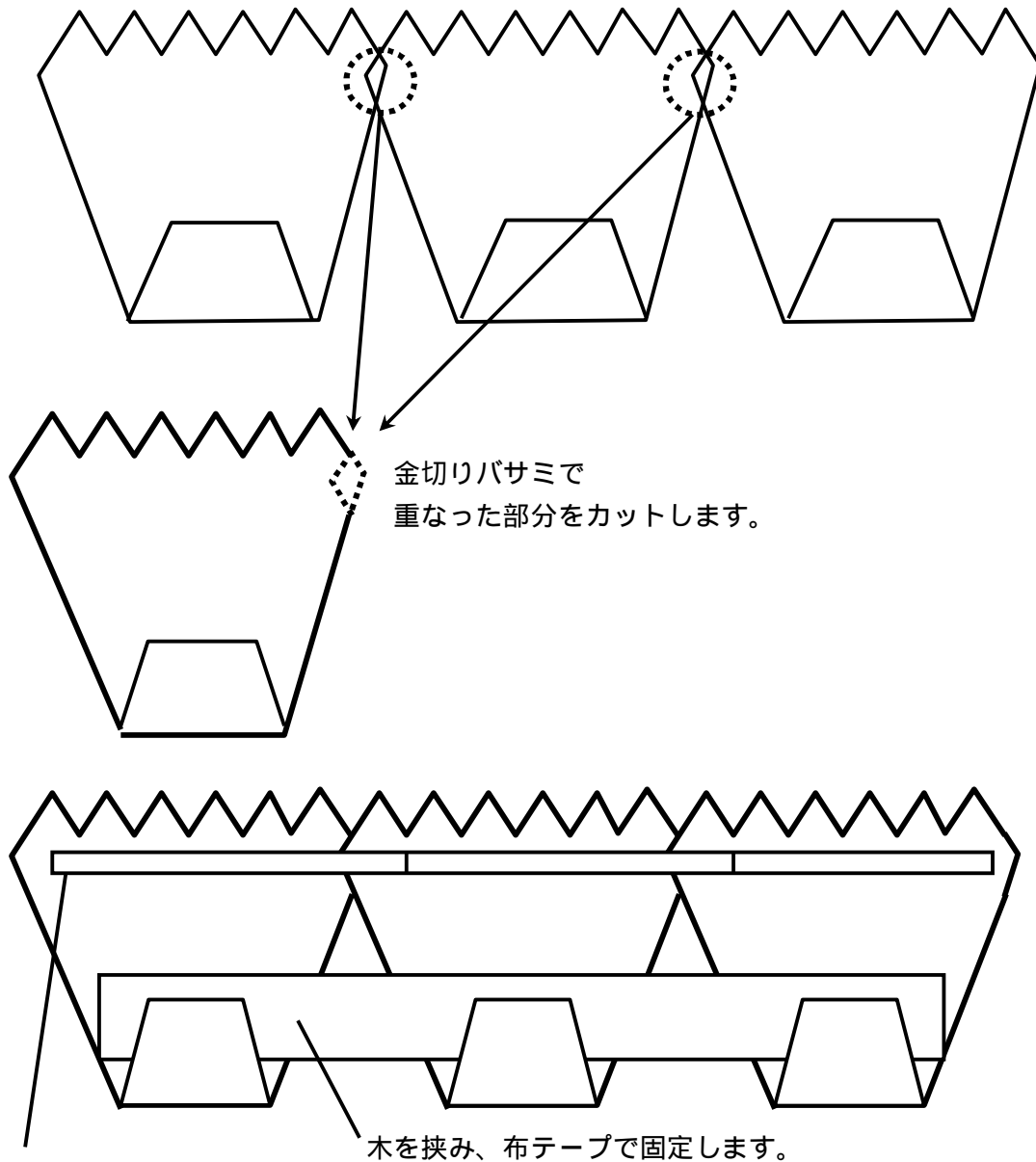


図 - 1

- ・大壁を仕上げる際、作業性をアップする為、大きいクシ目ゴテを作製すると便利です。(図-2、3)

<大型クシ目ゴテの作製方法>

- ・校倉専用クシ目ゴテJR-71(5枚/箱)を2~3枚つなげて、布テープと木で固定します。(図-2)残ったクシ目ゴテは、細かい部分の施工に使用して下さい。

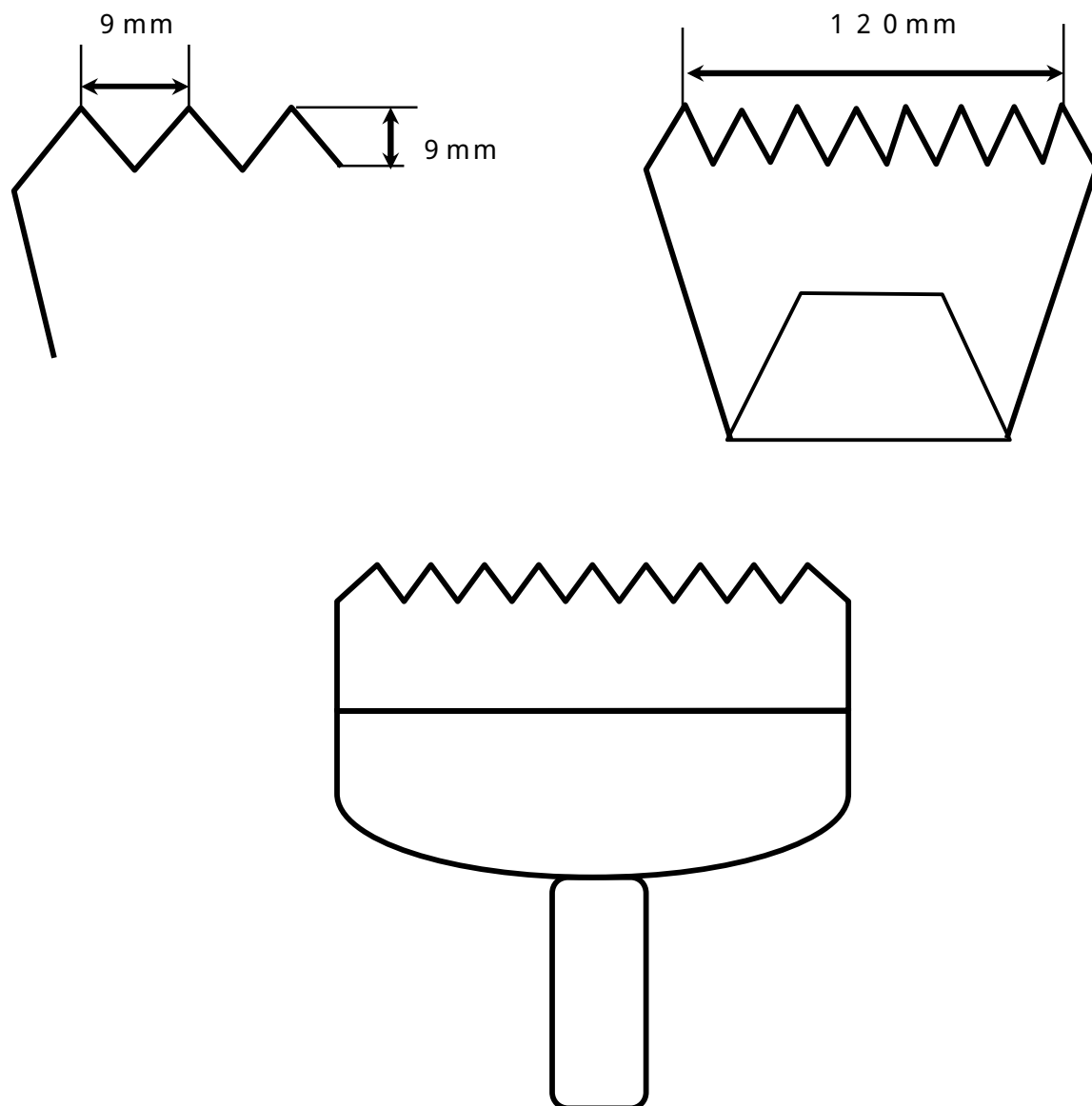


割り箸又は木をあてがい、布テープで固定します。  
(くしがパターン付けの際、ゆがまないようにする為)

図 - 2

・市販のパテベラ(金ベラ)を金切りばさみでカットしても大型クシ目ゴテは作製できます。(図-3)

<校倉専用クシ目ゴテJR-71の形状>



・校倉専用クシ目ゴテのピッチに合わせて、金切りバサミでカットします。

図 - 3

< 施工の注意事項 >

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・ 配り塗り後、速やかにパターン付けを行って下さい。表面が乾燥してしまうとパターン付けが出来なくなります。
- ・ 同一面は連続して施工して下さい。  
(気温・湿度・風等により、色調が異なることがあります。)
- ・ パターンを付ける際、ラインが蛇行したり斜めに下がったりしないよう注意して下さい。
- ・ 材料の塊(クズ)が壁面に残らないよう、クシ目ゴテに付着した材料は、コテ板やウエスなどでかき取り、きれいにして下さい。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意してください。  
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討してください。)
- ・ 気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5 以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用ください。  
しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下では JPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮ください。
- ・ シーラー、溶剤、洗剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗剤水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

校倉のパターンを真っ直ぐ、きれいにつなぐことは、気象条件、足場、施工人工、施工技術などの関係で困難です。詳しくは、各営業店所に御相談下さい。

以 上